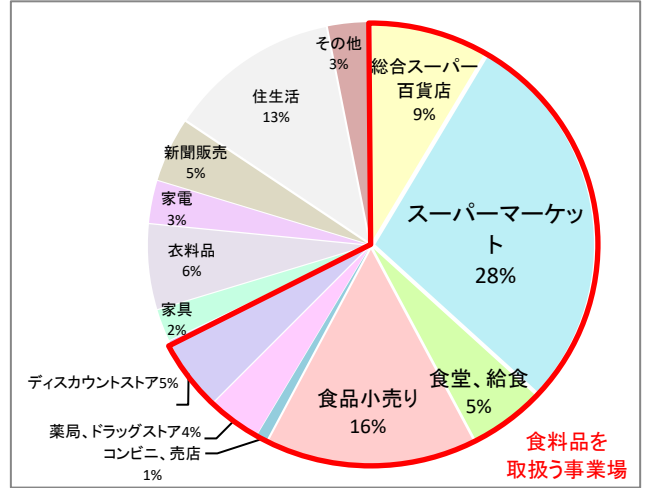
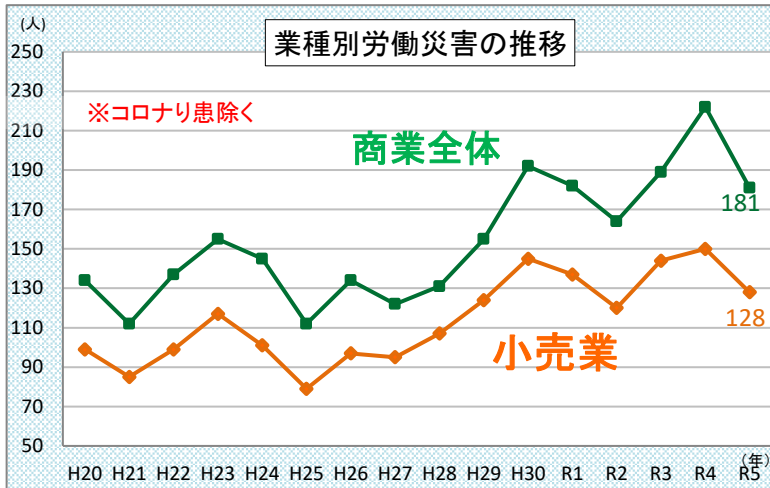


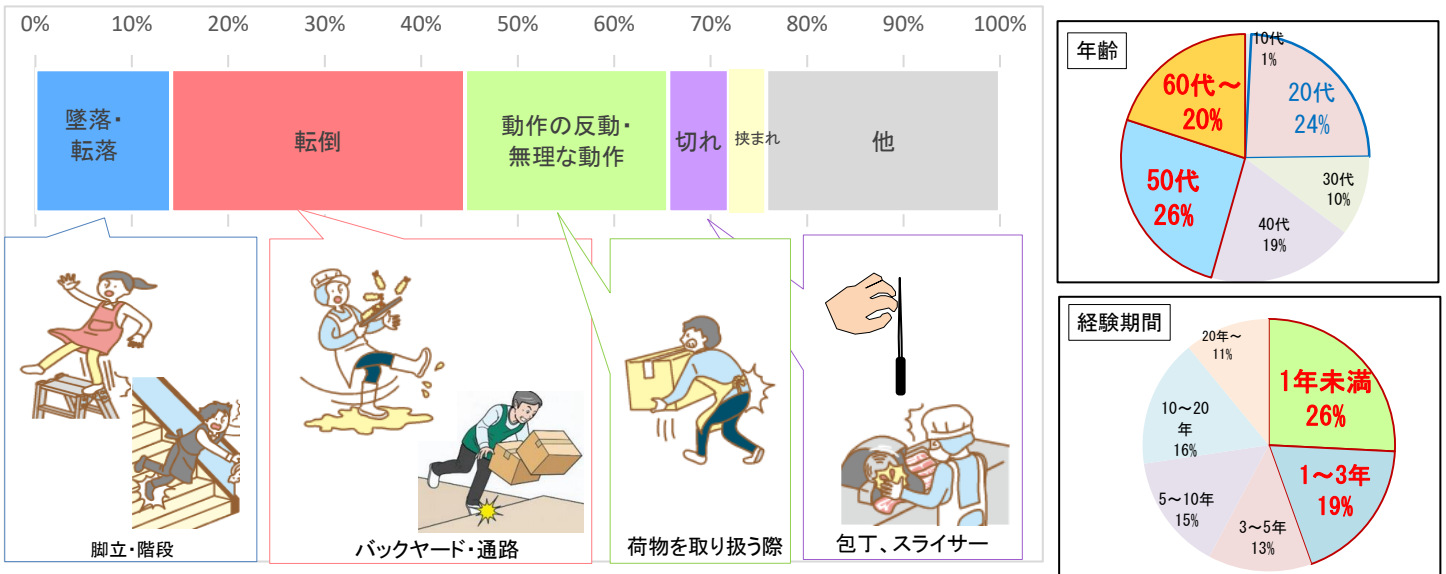
転倒・腰痛・墜落・切れ等による災害を防ぐために ～行動災害防止を中心とした対策の推進～

管内（新宿、中野、杉並区）の小売業の労働災害の特徴

◇令和4年は過去ワーストの件数 スーパー等食料品を取扱う事業場での発生多い



◇転倒災害が多い。被災者の約半数は50歳以上で、経験3年未満での発生多い。



店舗に労災防止の担当者を配置し、働く人の安全意識向上を！

安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のある者を1名選任し、氏名を掲示
＜主な活動は以下＞

＜職場内の作業方法、危険箇所の改善＞

- ①職場内の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凸凹、水・油等の解消（危険箇所の解消）

＜働く人の安全意識を向上＞

- ①朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業（脚立、器具の操作等）の教育



働く人の安全意識向上（私の安全宣言例）

全労働者が宣言し、その内容を掲示

宣言日 令和 年 月 日
掲示日 令和 年 月 日

私の安全宣言

労働災害防止のため 私はこうします！

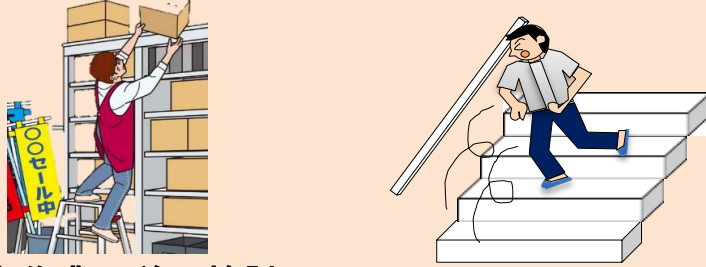
- ・ 通路上の整理・整頓を徹底する
- ・ 濡れている箇所があったら、すぐに拭き取る

会社名 (株) スーパー○○店
氏名 東京 太郎

様式は東京労働局HPよりダウンロード可

労働災害の対策のポイント

<墜落・転落>



◇作業の前に検討！

- ・脚立等を使用する作業をなくす(高所に置かない)
- ・脚立を使用する際は作業に見合った(高さ等)用具使用

◇労働者に教育を！

- ・脚立から身を乗り出さない
- ・3点(両手・足のうち3点)昇降
- ・階段は走らない、足元確認

<不用意な動作>



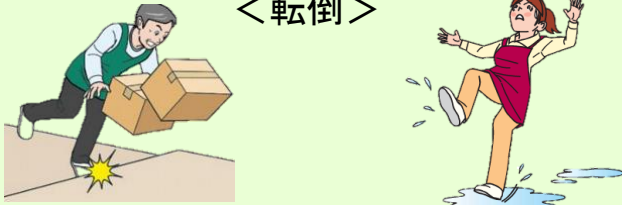
◇作業の前に検討！

- ・重い物の運搬方法を検討(台車使用、複数人対応等)
- ・ムリな姿勢とならない作業空間の確保
- ・台車が安全に通行できる経路確保

◇労働者に教育を！

- ・持つ際の姿勢(膝を曲げ、腰を落とす)
- ・腰を捻る等の急な動作をしない
- ・台車等の安全な取り扱い方法

<転倒>



◇作業の前に検討！

- ・バックヤードの4S(整理、整頓、清潔、清掃)
- ・床面に応じた滑りにくい靴の着用

◇労働者に教育を！

- ・水気を確認したらすぐ除去(道具の備え)
- ・安全な通路を常に確保(通路と置き場を分ける)
- ・慌てない、急がない(足元確認)

<切れ>



◇作業の前に検討！

- ・切創防止手袋の着用
- ・刃の点検(必要に応じた交換、研ぎ)

◇労働者に教育を！

- ・安全な取り扱い方法
 - 包丁使用時、丸い物、固い物等の注意点
 - カッター使用時の手の位置(切る先に手を置かない)・・・etc
- ・所定の位置への片付け(出しっ放し禁止)

転倒、腰痛等の行動災害

(労働者の作業行動を起因とする労働災害)の予防対策の推進

特に三次産業で労働災害が増加しており、「転倒」や「腰痛」等の行動に起因する災害(行動災害)が多くを占める。

企業・労働者の行動変容を促し、 災害増加に歯止めをかける

「SAFEコンソーシアム」の設立

SAFEコンソーシアム ポータルサイトの活用を！

SAFEとは? コンソーシアム シンポジウム アワード 現場視察 転倒予防川柳 動画

各種動画を多数配信

シンポジウムや現場視察
取組のAward(表彰)

SAFEコンソーシアムポータルサイト

東京労働局にて、
小売業本社による
「SAFE協議会」を設立
企業の取組事例

小売業の労働災害を防止しましょう
現場での安全な作業実践

高齢労働者対策

高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン

高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点からの高齢労働者の健康づくりを推進
働く高齢者が増加！

60歳以上の労働災害1/4以上！
災害発生率が高齢層で高い！

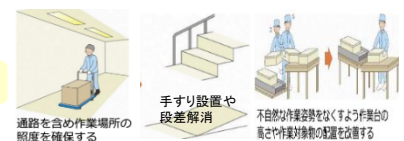
高齢者の就業状況や
業務内容に応じて
実現可能な対策を

ポイント①

『トップの方針表明』と推進するための『体制整備』

ポイント②

『職場環境の改善』



ポイント③

『体力や健康状況』の把握と対応

体力チェックの実施

ポイント④

『安全衛生教育』



体力チェックの方法、ガイドラインの詳細について→

